

DMG森精機株式会社 2016年度(1-12月) 決算説明会



IR Conference
2017/2/10

目次

1)DMG MORIグループ重点施策

2)2016年度決算概要

3)事業環境

4)DMG MORI グループの取組

Key Message

✓ 2016 受注安定力を発揮 (YoY 円ベース- 4.4% ユーロベース+6.9%)

✓ 第4四半期、実質営業利益率 8.8%確保

✓ Domination Agreement 発効後の重複資産等、整理完了
2017年は当社収益力向上への転換点

✓ 米国グループ会社 四半期黒字化達成

✓ Cash Flow がPositive に転換
2017年1株あたり年間配当金30円(2016年 26円)

DMG MORI AGとの協業経緯

CY2015

4月: AG連結対象化

- ・ IFRS適用/ 9ヶ月変則決算
- ・ 段階取得差益計上
- ・ Purchase Price Allocation の処理
- ・ 米国直販化

CY2016

4月: AG持分比率76%取得 8月: Domination Agreement発効

- ・ 重複資産・ノンコア事業整理 143億円
- ・ 株式買取債務計上
- ・ Machining Solution Providerへの深堀 (CELOS拡販/ Technology Cycles 拡充)
- ・ CMX Vシリーズ市場リリース

CY2017~

- ・ 実力評価(収益改善確認)
- ・ Net Debt 改善
- ・ Total Solution Provider としての真価
- ・ Smart Factory導入支援

➤ 2016年で複雑な会計処理は一巡

- ✓ 2009年 業務提携開始
- ✓ 2011年 持分法適用
- ✓ 2015年 連結対象化
- ✓ 2016年 Domination Agreement成立、統合完了
上記過程において、重複資産・ノンコア事業整理

➤ 実績評価 (対前年比較可能)

2016年 統合過程におけるノンコア事業の整理

(億円)

	進捗	2016年 費用	2017年 効果額
工場閉鎖等			
千葉	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀事業所へ統合完了 土地・建物売却(48億円) 		
上海	<ul style="list-style-type: none"> 2016年12月生産終了 建物をSolution Centerとして活用 	-55	+30
DIXI (スイス)	<ul style="list-style-type: none"> 生産終了 資産は減損(一部資産売却) 		
TOBLER (フランス)	<ul style="list-style-type: none"> 事業売却 		
エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> 売却完了/残り資産も減損済 		
マーケティング関連他	<ul style="list-style-type: none"> 代理店との契約解消 	-26	+21
その他	<ul style="list-style-type: none"> 重複管理層の削減他 完了 	-15	+10
	小計	-143	+65
米国グループ会社黒字化	<ul style="list-style-type: none"> 2016年第4四半期黒字、2017年通期黒字計画 		+35
	合計		+100

目次

1)DMG MORIグループ重点施策

2)2016年度決算概要

3)事業環境

4)DMG MORI グループの取組

通期業績推移

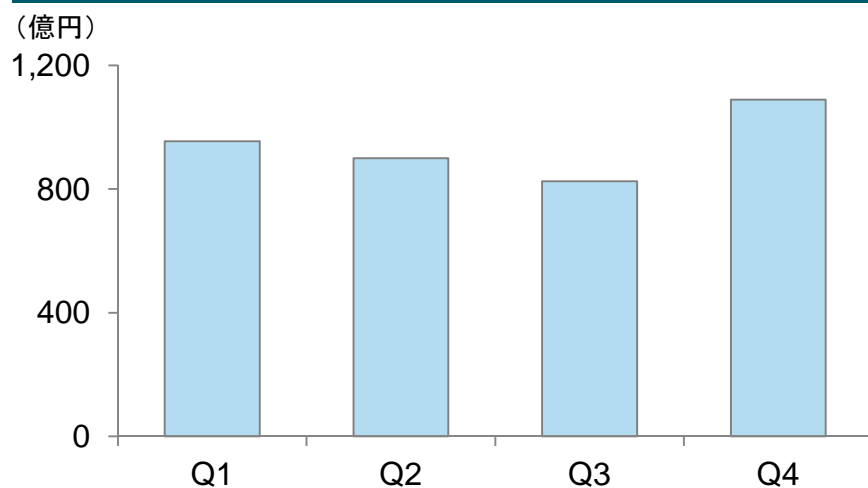
- 2016年実績、2017年業績予想

1~12月 (億円)	2015年 プロ FORMA	2016年 実績	増減 (%)	2017年 予想	増減 (%)
売上収益	4,284	3,766	-12.1%	3,800	+0.9%
営業利益(一過性費用除く)	360	130	-63.9%	220	+69.2%
営業利益率 (%)	8.4%	3.5%		5.8%	
一過性費用/利益	+51	-110		-	
営業利益	411	20	-95.1%	220	
営業利益率 (%)	9.6%	0.5%		5.8%	
金融収支 (うち、DAに伴う経済補償額)	-21	-32 (-7)		-40 (-20)	
当期利益	358	-57	-	120	
親会社所有者帰属利益	324	-78		110	
非支配持分帰属利益	34	21		10	
1株あたり年間配当金(円)	26.0	26.0		30.0	
償却費	146	170		170	
設備投資額	266	152		100	
(為替) USD/JPY	121.1	108.9		110.0	
EUR/JPY	134.3	120.3		120.0	

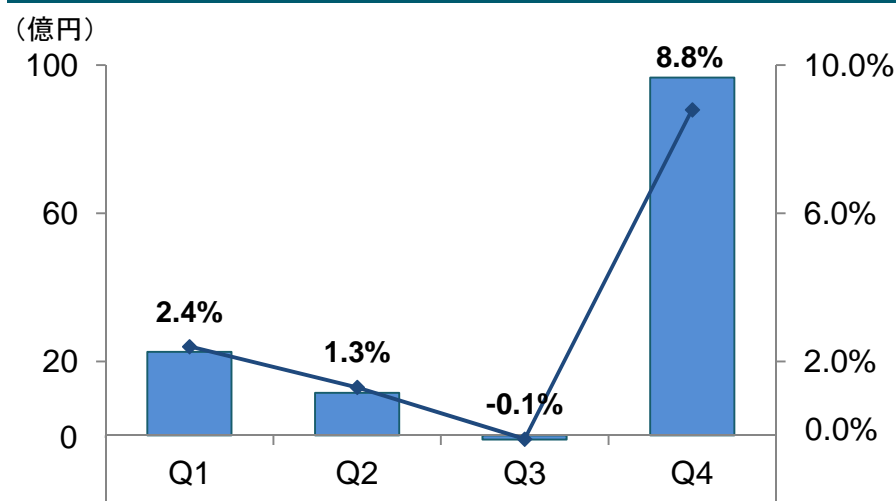
2016年12月期決算概要(四半期推移)

2016年 (億円)	Q1	Q2	Q3	Q4	CY Total
売上収益	954	899	824	1,089	3,766
営業利益(一過性費用除く)	23	12	-1	96	130
営業利益率 (%)	2.4%	1.3%	-0.1%	8.8%	3.5%
一過性費用/利益	-	-	-7	-103	-110
営業利益	23	12	-8	-6	20
営業利益率 (%)	2.4%	1.3%	-1.0%	-0.6%	0.5%
(為替) USD/JPY	115.5	108.2	102.4	109.3	108.9
EUR/JPY	127.2	122.0	114.3	117.8	120.3

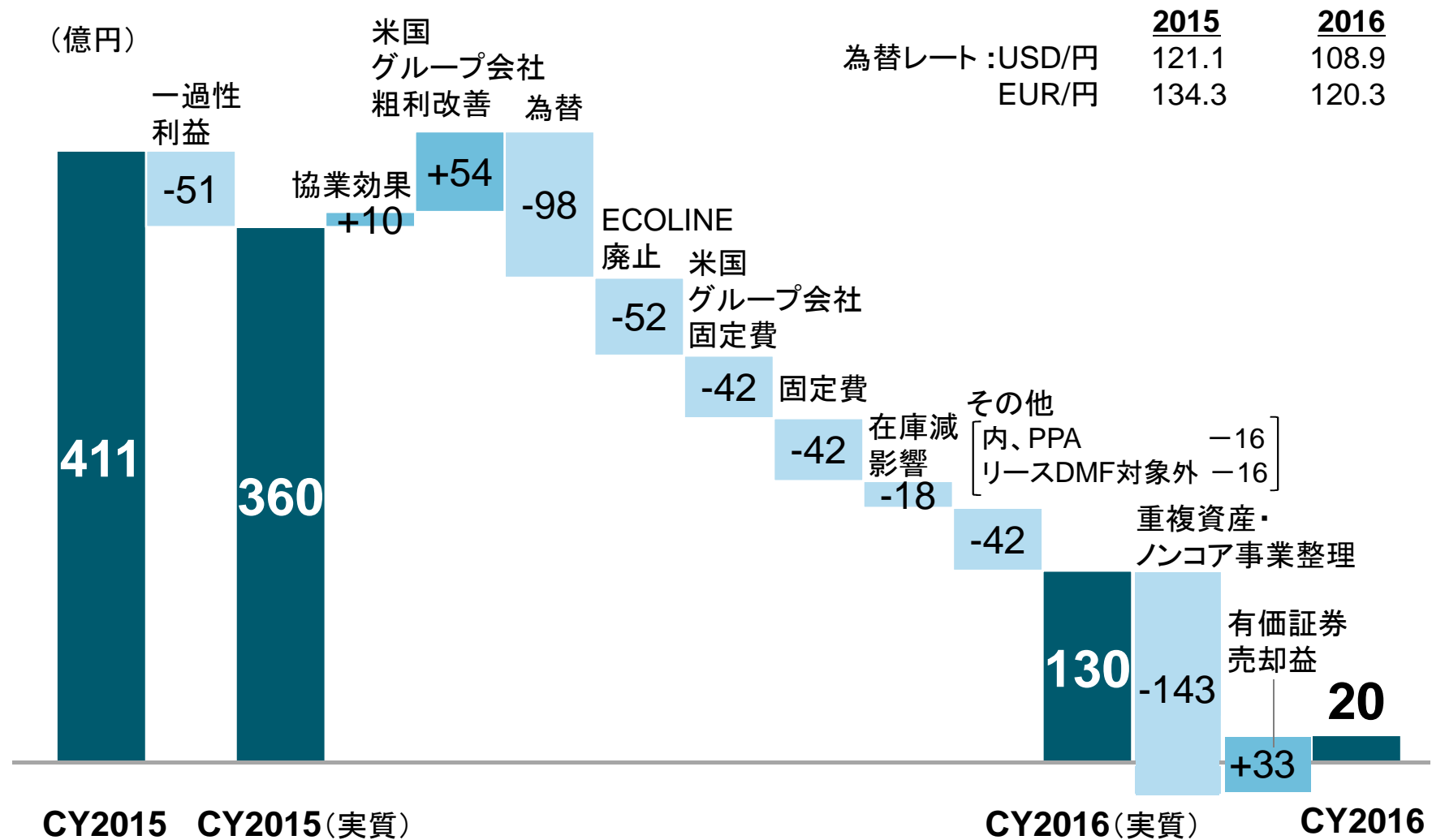
売上収益



営業利益(一過性費用除く)



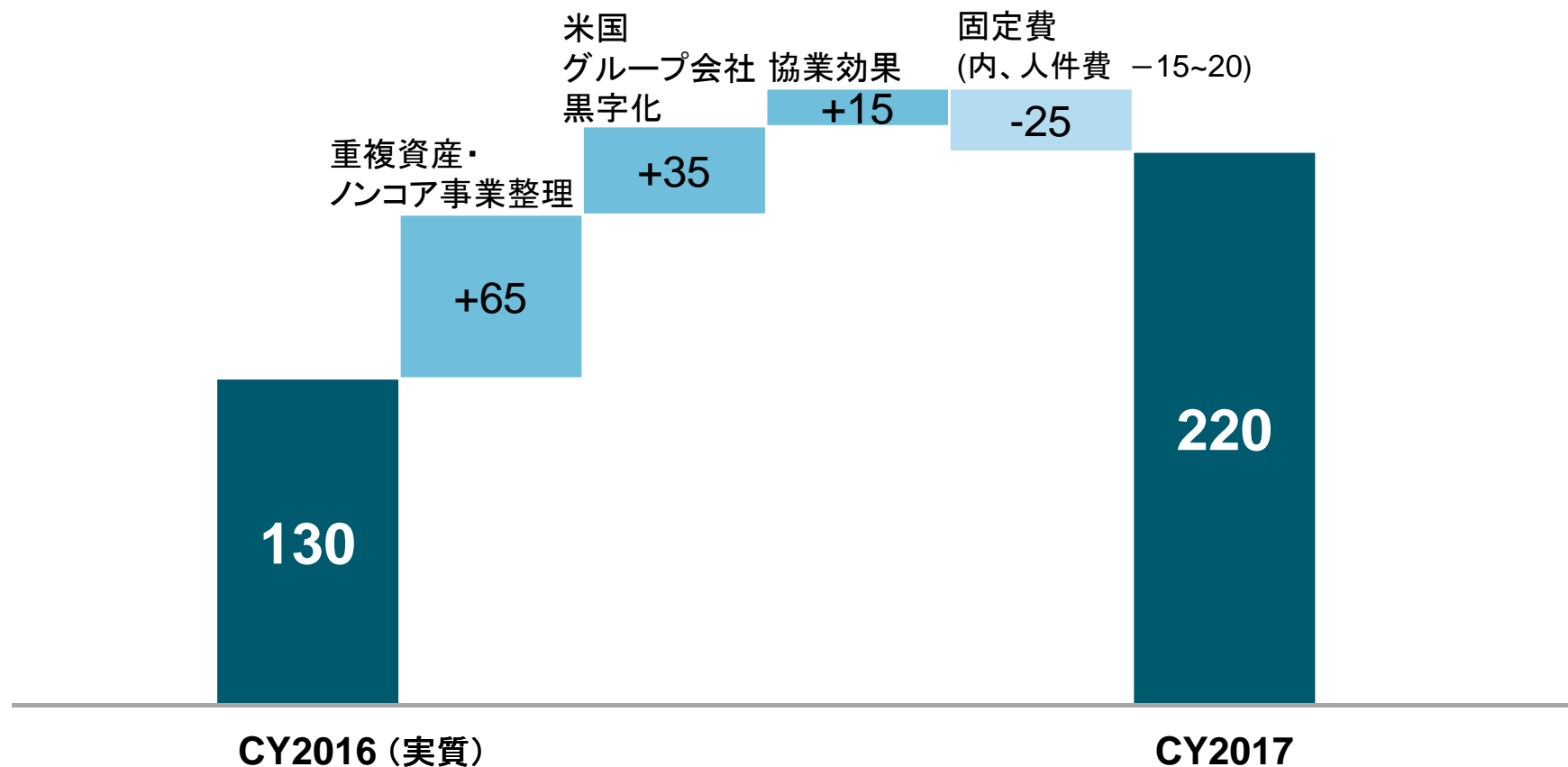
CY2016 営業利益増減分析 -対CY2015



CY2017 営業利益増減計画 -対CY2016

(億円)

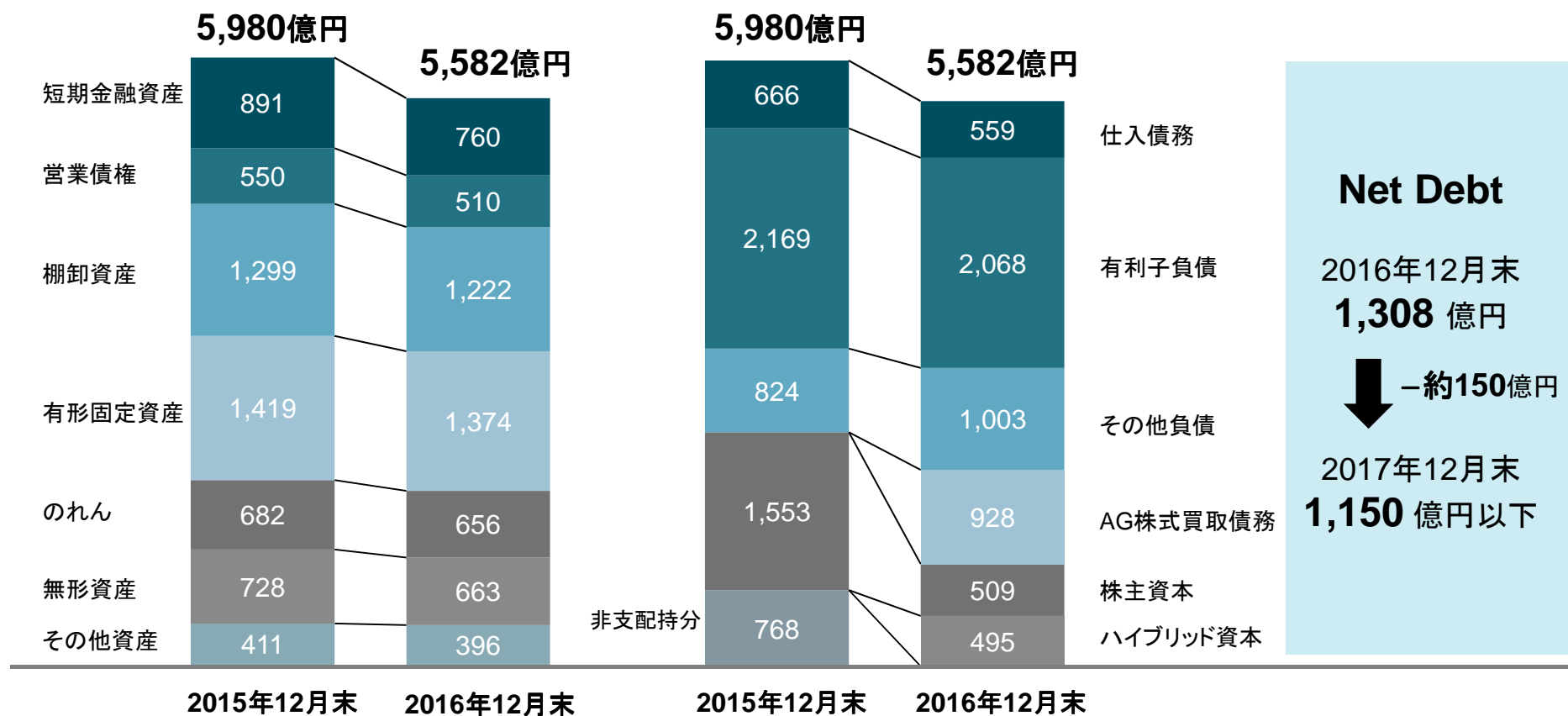
	<u>2016</u>	<u>2017</u>
為替レート :USD/円	108.9	110.0
EUR/円	120.3	120.0



貸借対照表

資産の部

負債・資本の部

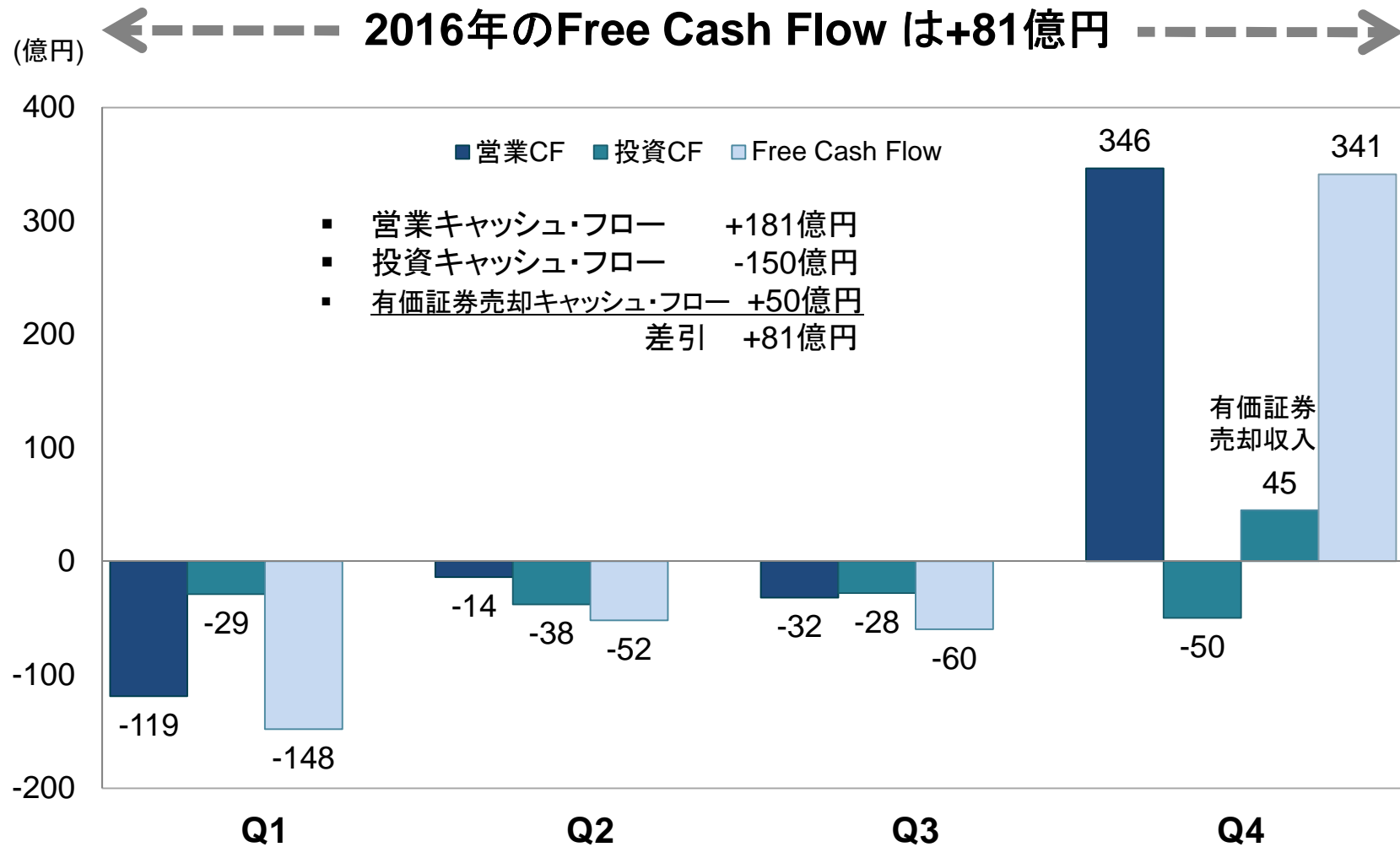


貸借対照表主要項目

(億円)	2015年		2016年	
	12月末	9月末	12月末	
資産等				
短期金融資産	891	394	760	
運転資本	995	1,066	906	
(内、前受金)	188	228	267	
負債・純資産				
Net Debt	1,278	1,628	1,308	2017年12月末 1,150 億円以下
株主資本	1,553	999	1,004	*永久劣後債/ローン 495億円含む

AG株取得及び株式買取債務に係る
資本控除額 918億円

キャッシュフロー



目次

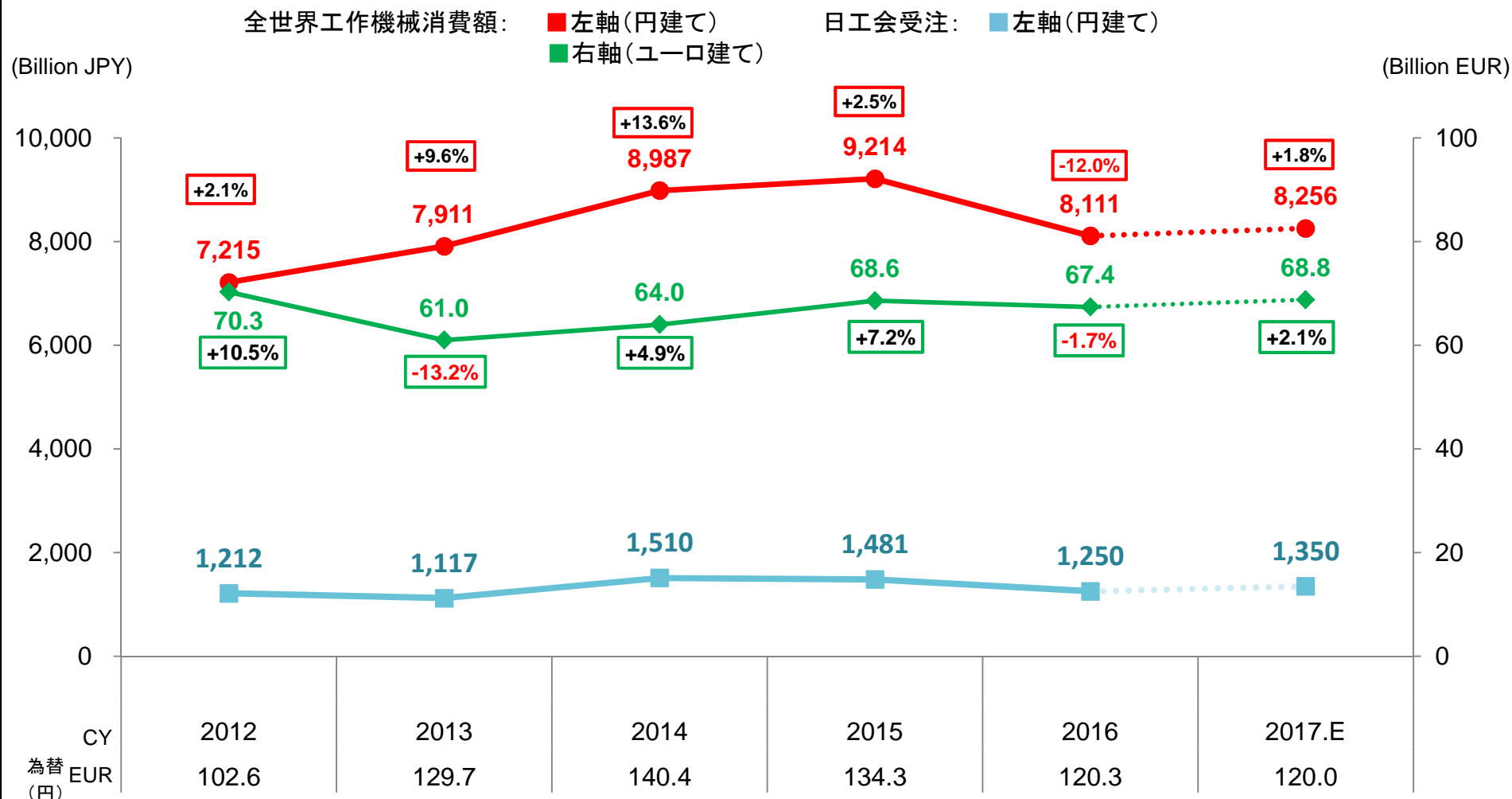
1)DMG MORIグループ重点施策

2)2016年度決算概要

3)事業環境

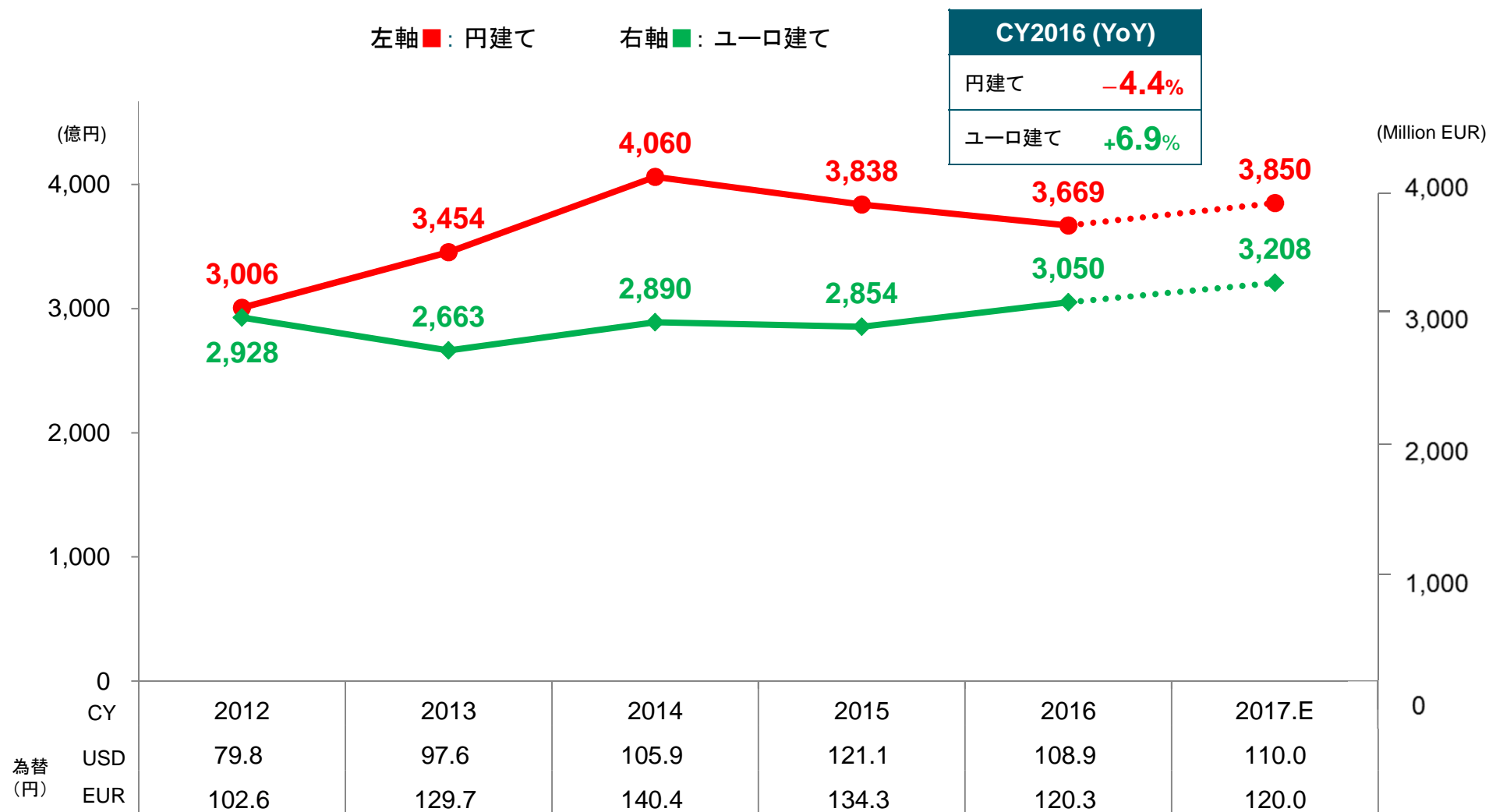
4)DMG MORI グループの取組

全世界工作機械消費額 (ドイツ工作機械工業会/Oxford Economics) /日工会受注

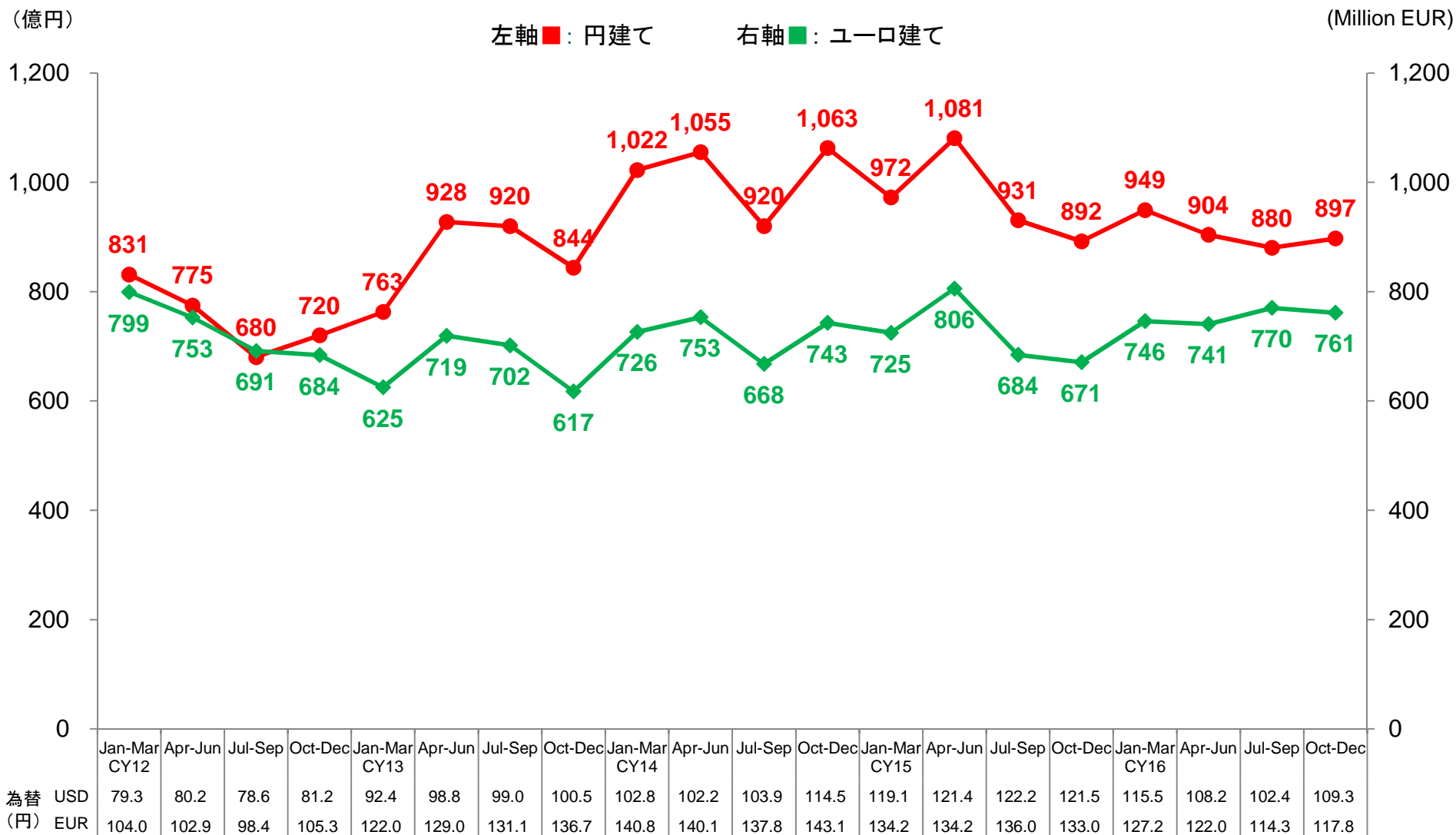


* 出典: VDW / Oxford Economics, Oct. 2016; 2016 without exchange rate effects; Total market (cutting and forming); DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT relevant: cutting

DMG MORI 連結受注



DMG MORI 四半期連結受注



需要概況（地域別、業種別）

地域

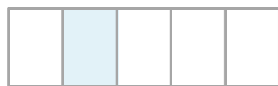
Down ← Flat → UP



CY2016

CY2017

日本



欧州



北米



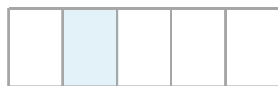
南米



中国



アジア
(除、中国)



業種

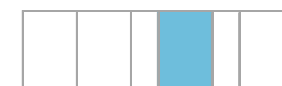
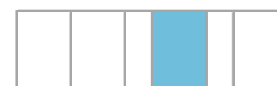
Down ← Flat → UP



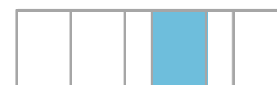
CY2016

CY2017

自動車



航空機



機械



医療



金型



エネルギー



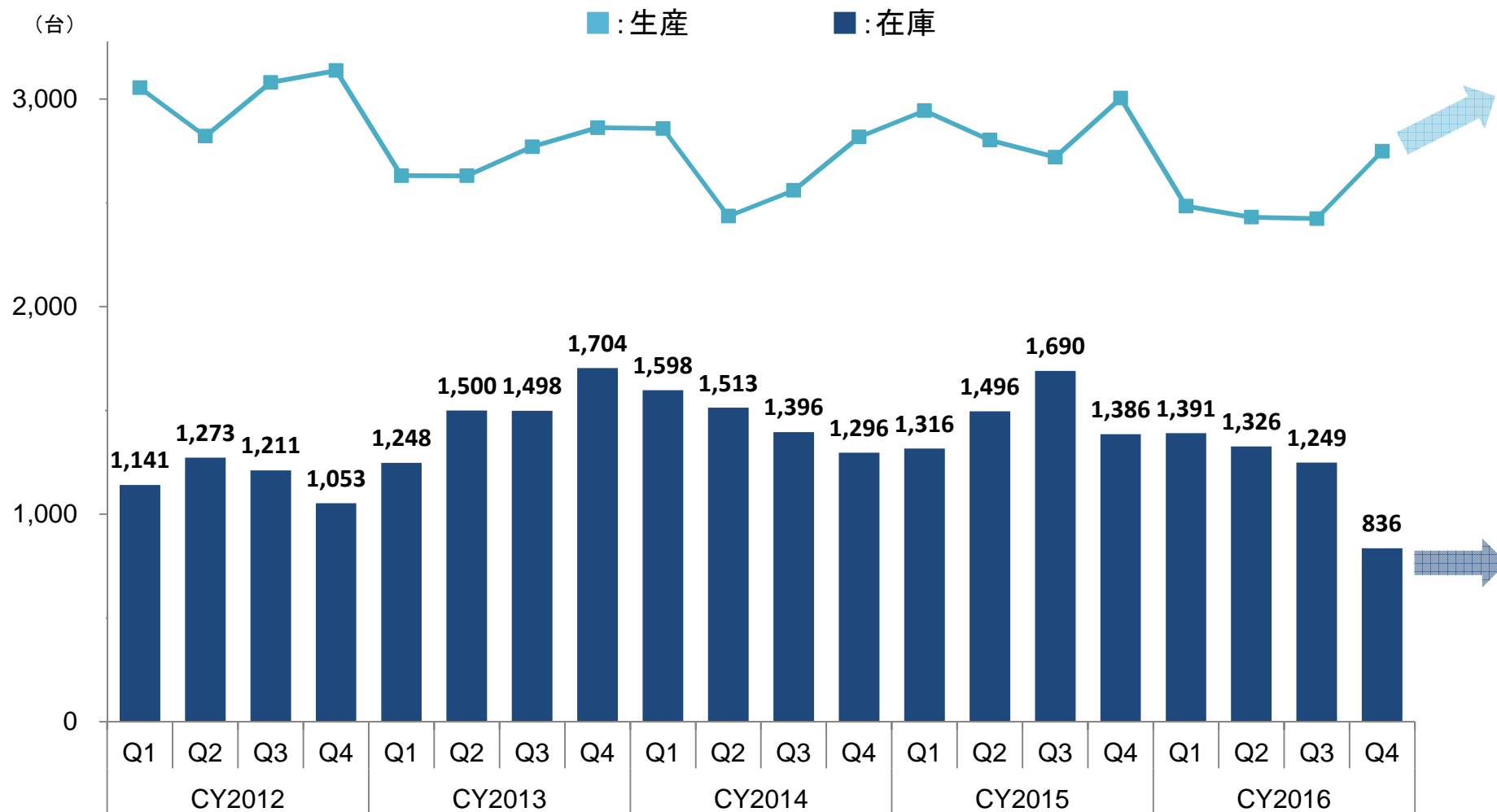
建機



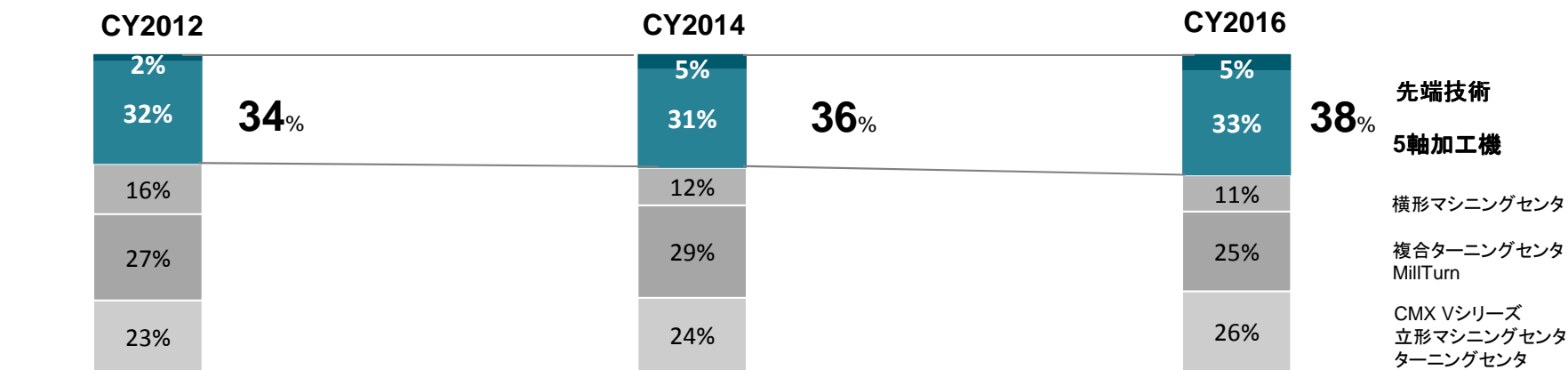
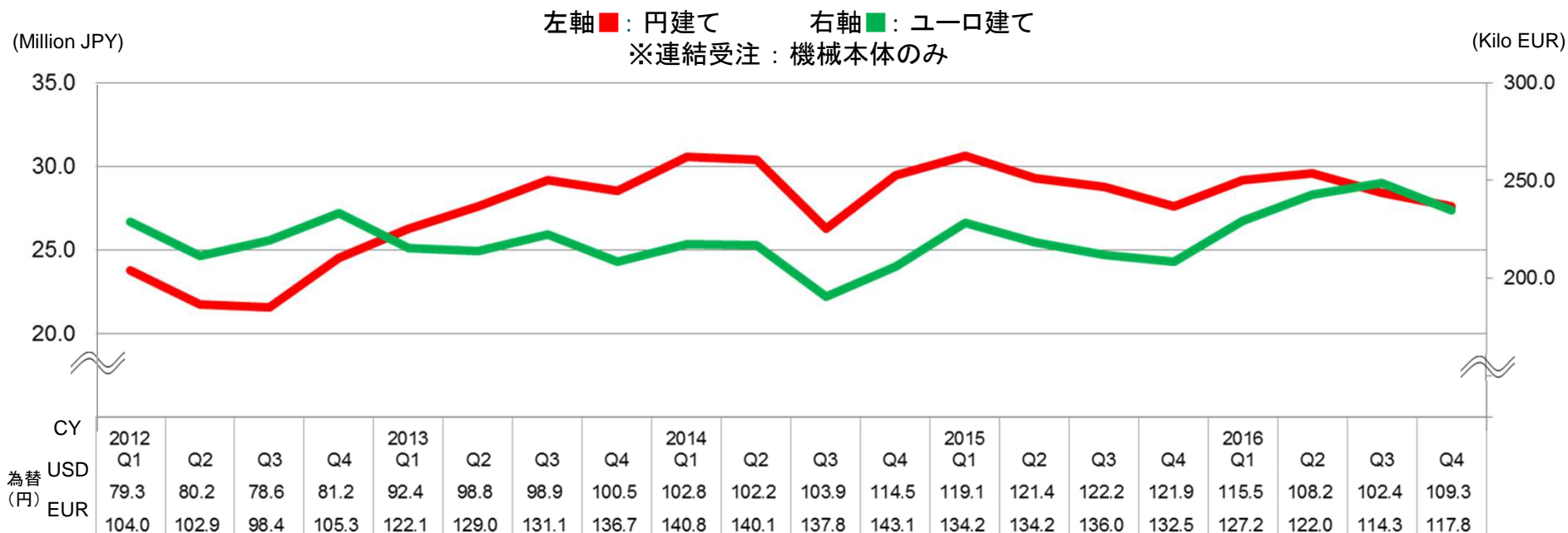
エレクトロニクス



連結在庫・生産台数推移



連結受注 平均単価

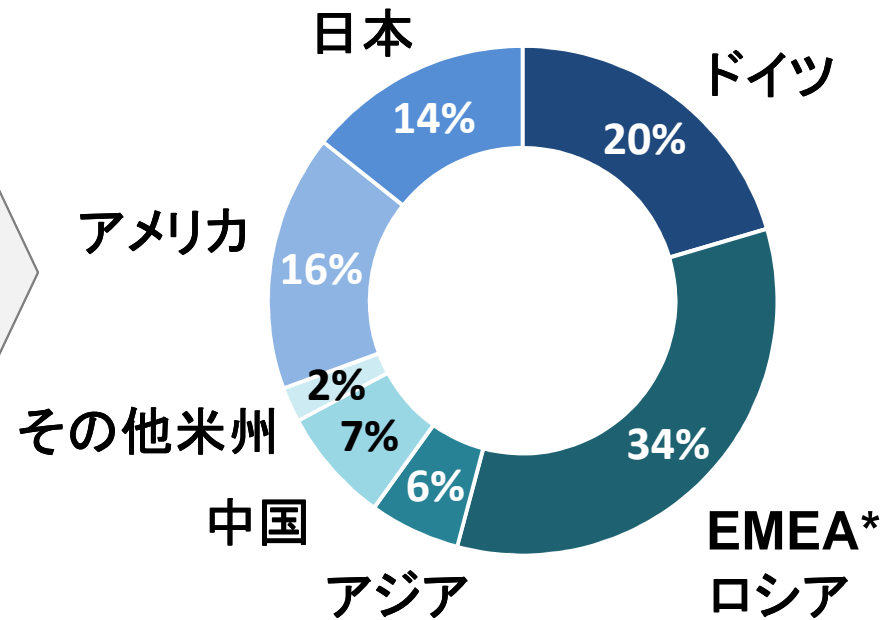
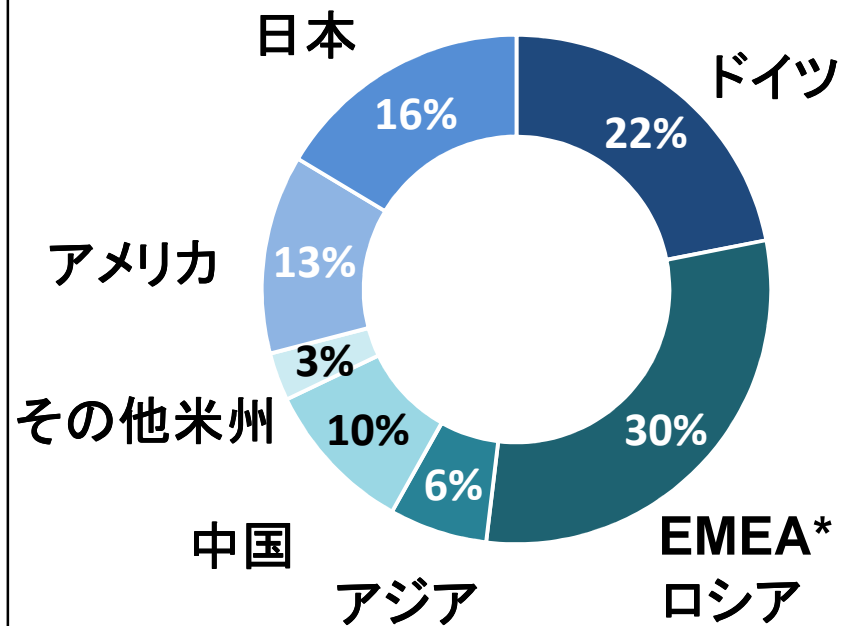


地域別受注動向（連結機械受注）

※金額ベース
※機械本体のみ

CY2015

CY2016

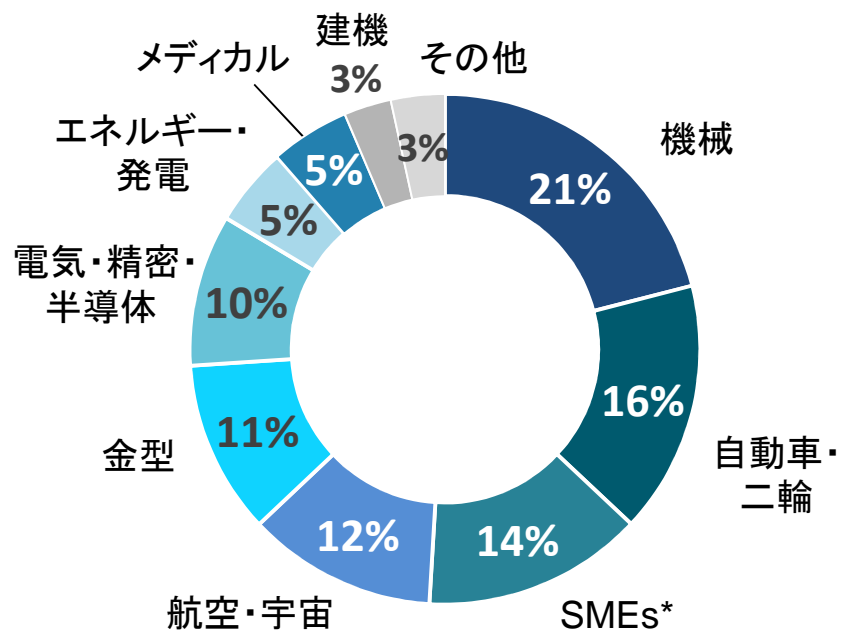


*Europe, Middle East and Africa

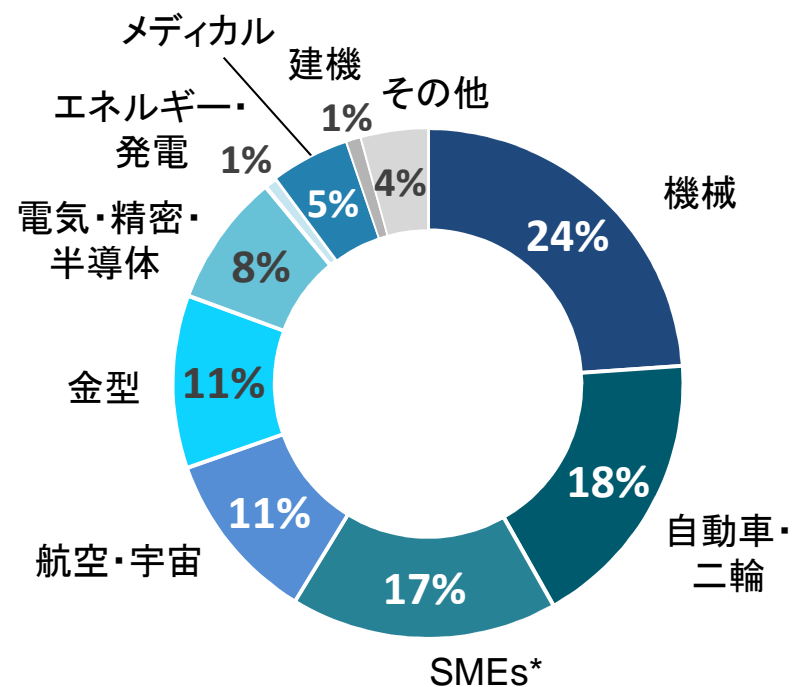
受注構成(業種別)

※金額ベース
※機械本体のみ

CY2015



CY2016

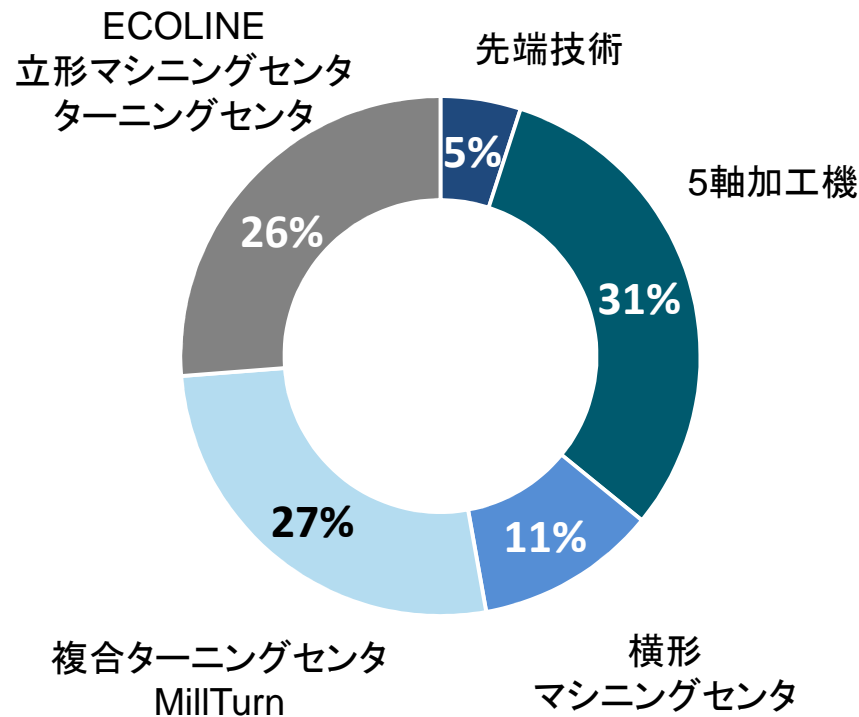


*Small and medium-sized enterprises

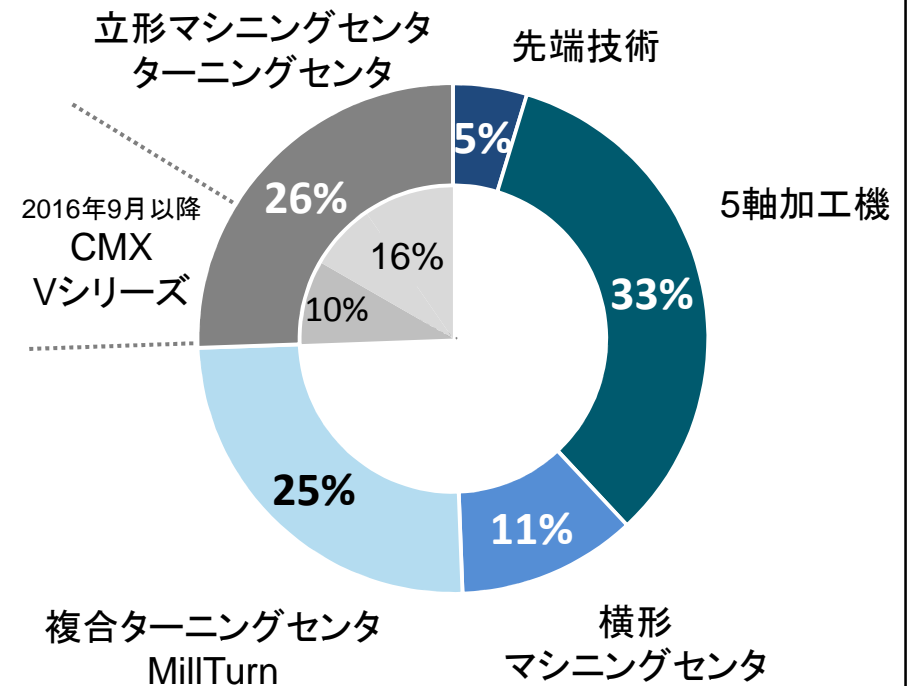
受注構成(機種別)

※金額ベース
※機械本体のみ

CY2015



CY2016



目次

1)DMG MORIグループ重点施策

2)2016年度決算概要

3)事業環境

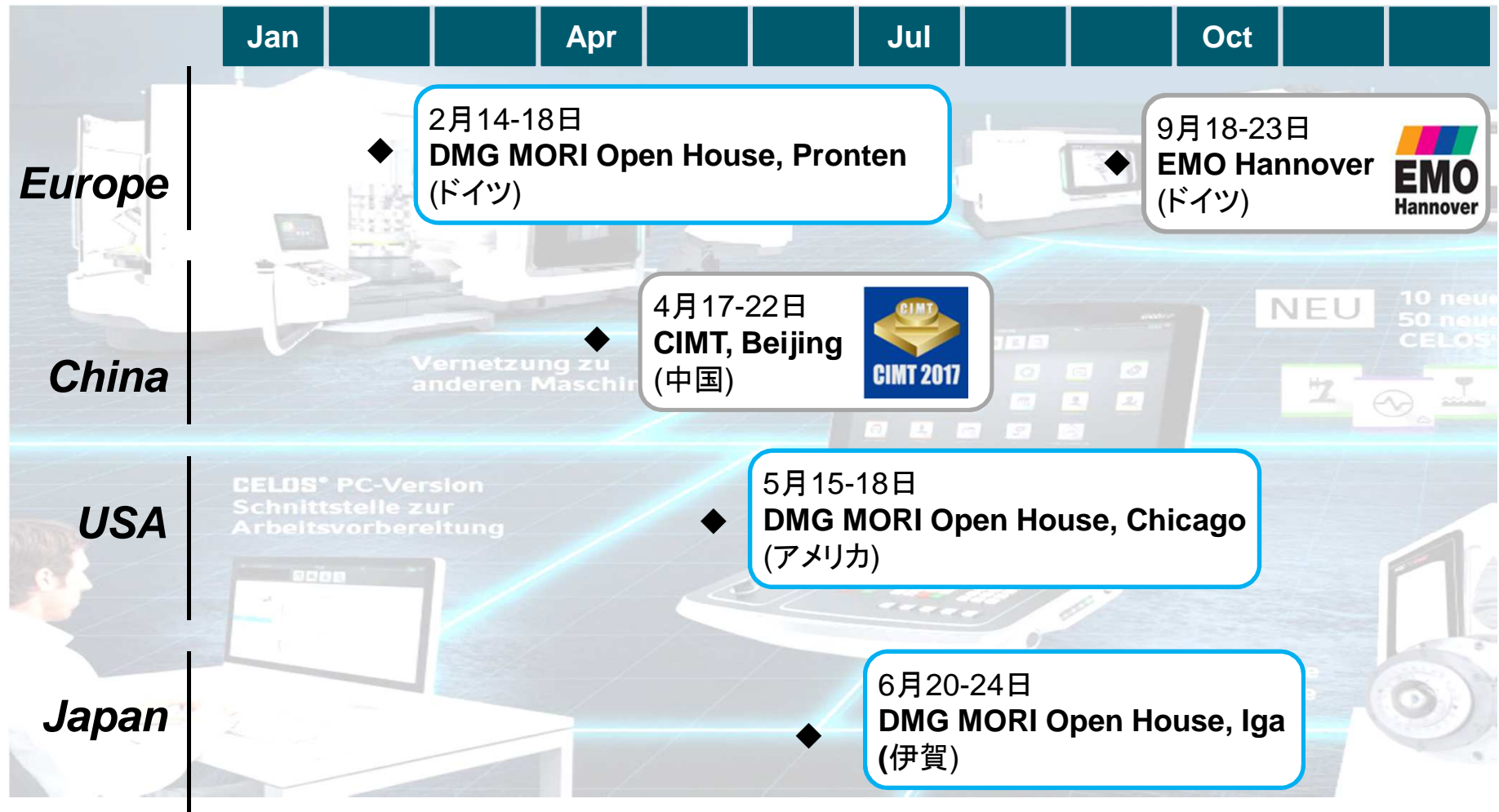
4)DMG MORI グループの取組

Stakeholders' Satisfaction

- ✓ DMG MORIの顧客提案力
グローバルカスタマー海外展開支援・SMEs支援・IoT対応支援
- ✓ 機種統合・部品点数削減促進
パートナー・サプライヤとの周辺機器開発及び接続ソフトウェア展開
- ✓ ITインフラによる業務効率の向上
5,000名のグローバル営業、サービス・アプリケーションエンジニアの
クロスファンクション支援
- ✓ 多様な働き方で従業員能力・モチベーション向上 = 欧州並み水準
- ✓ キャッシュ創出力高め、早期に純有利子負債1,000億円以下

2017年 主要展示会予定

□DMG MORIが提供するSmart Factoryをユーザが体感

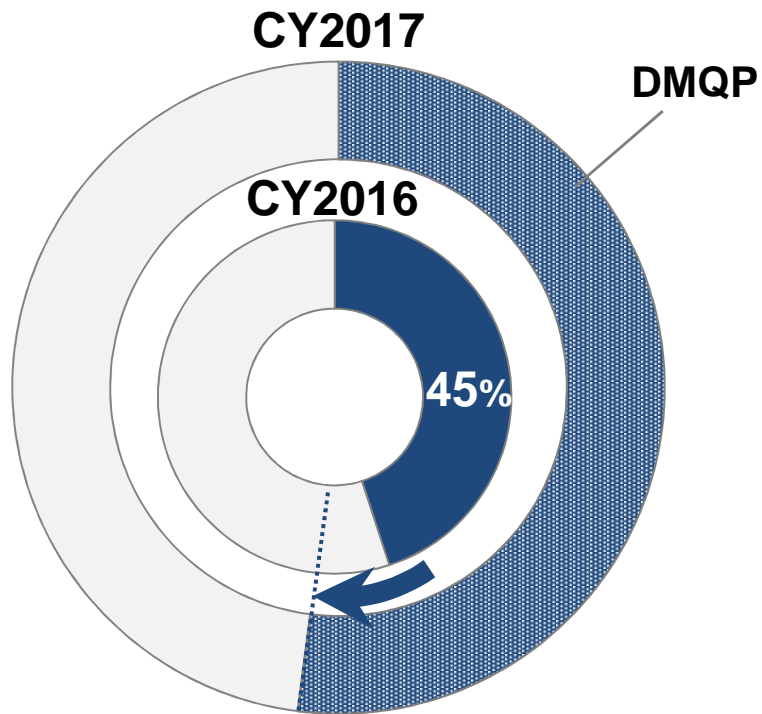


DMQP / Technology Cycles 順調に拡大

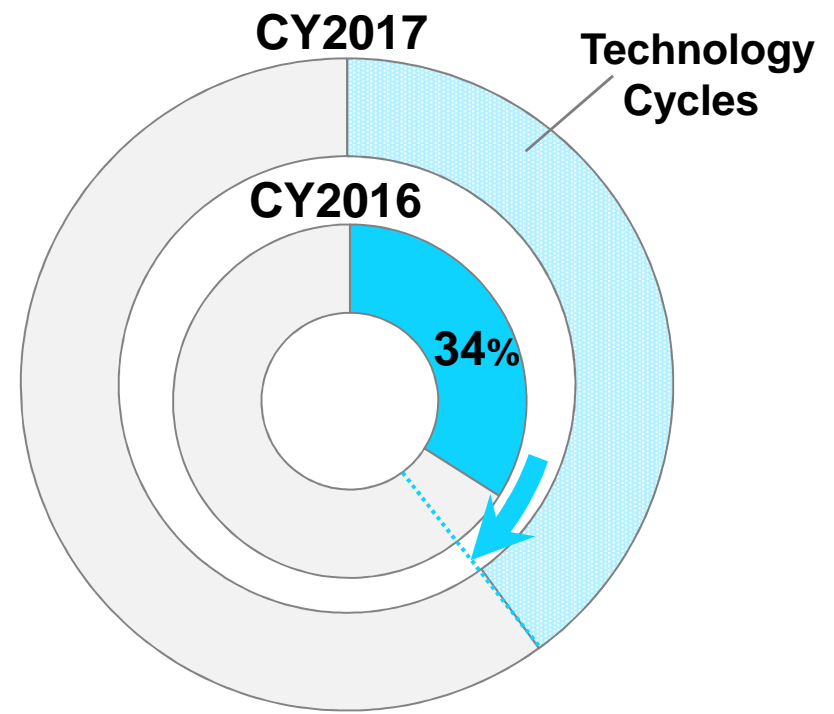
□ 顧客付加価値を高め、販売単価向上に貢献

DMQP* 搭載率

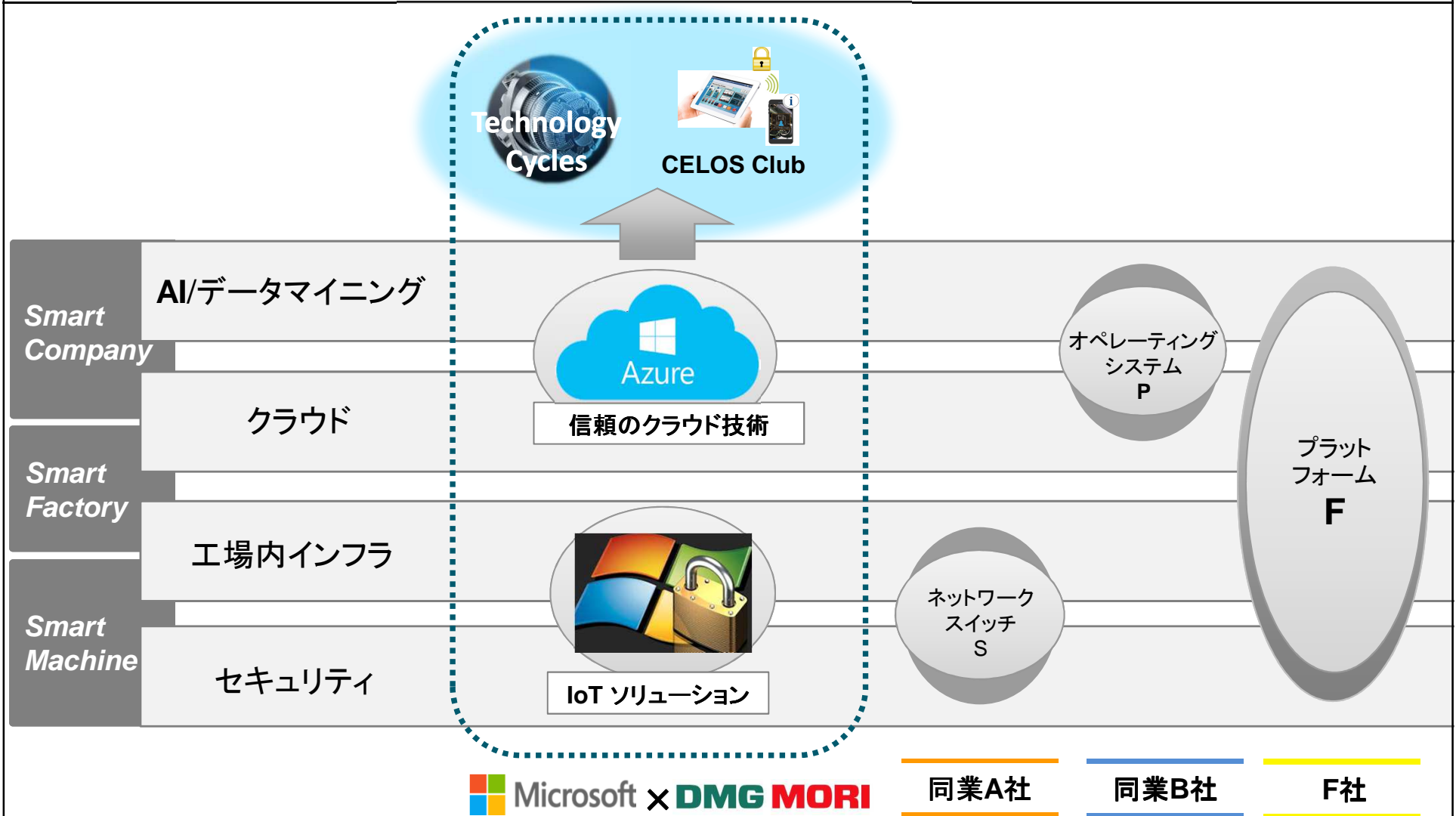
*DMG MORI Qualified Products



Technology Cycles 搭載率

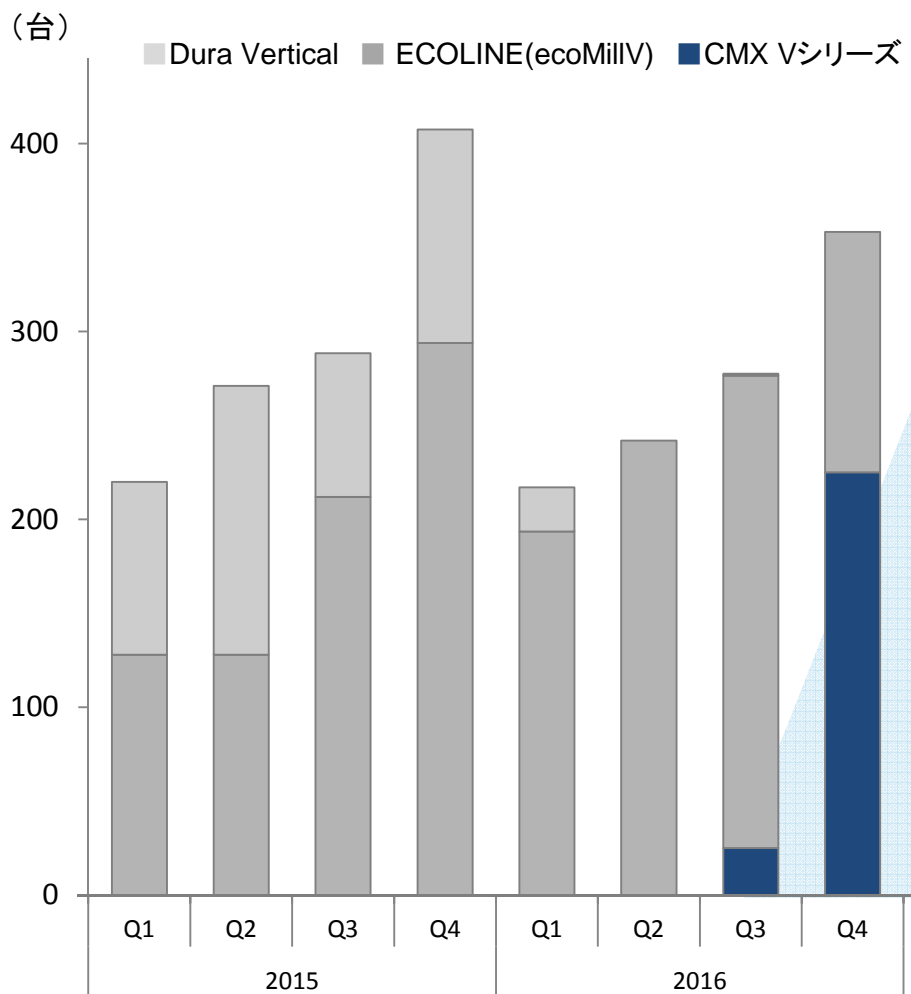


IoTにおける当社優位性



CMX Vシリーズ 受注好スタート

四半期受注推移(台数)



CMX Vシリーズ
オプション搭載率 **30%**

受注平均単価 **1,500万円**



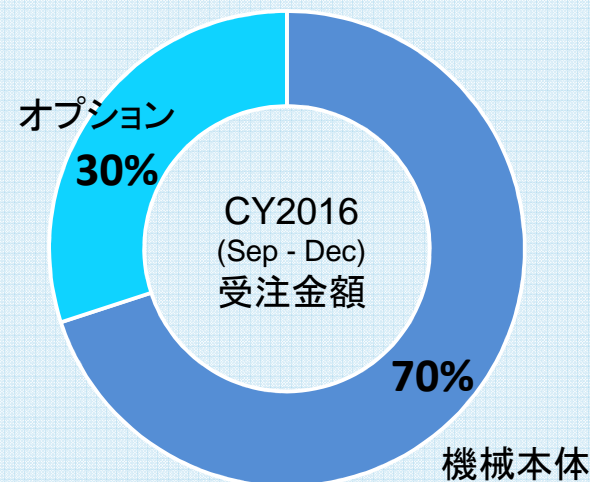
CMX 1100 V



CMX 800 V

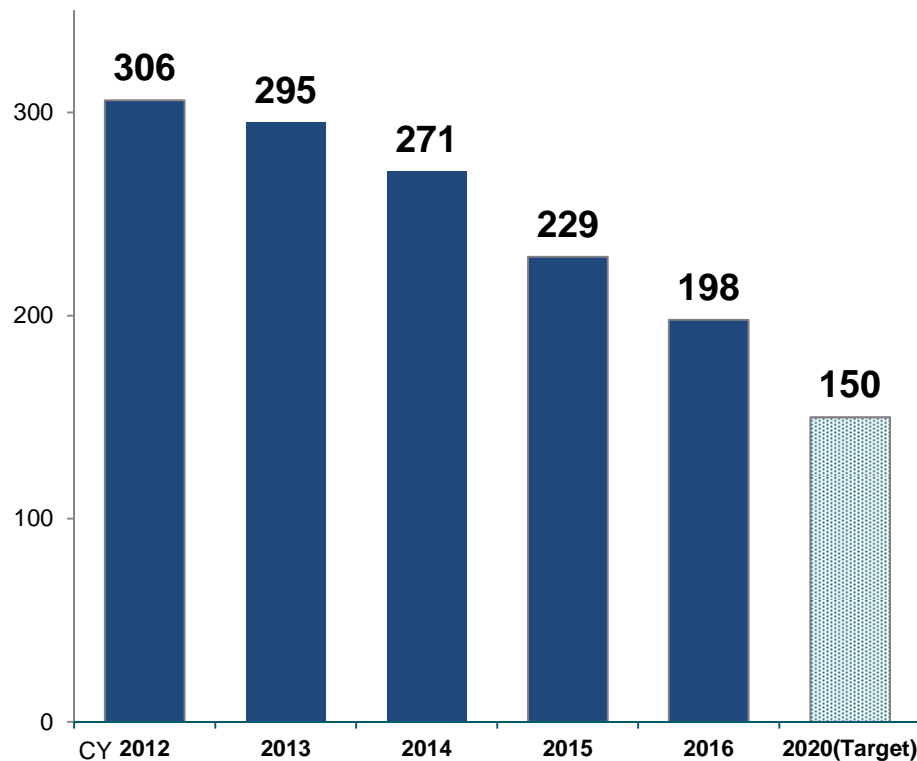


CMX 600 V

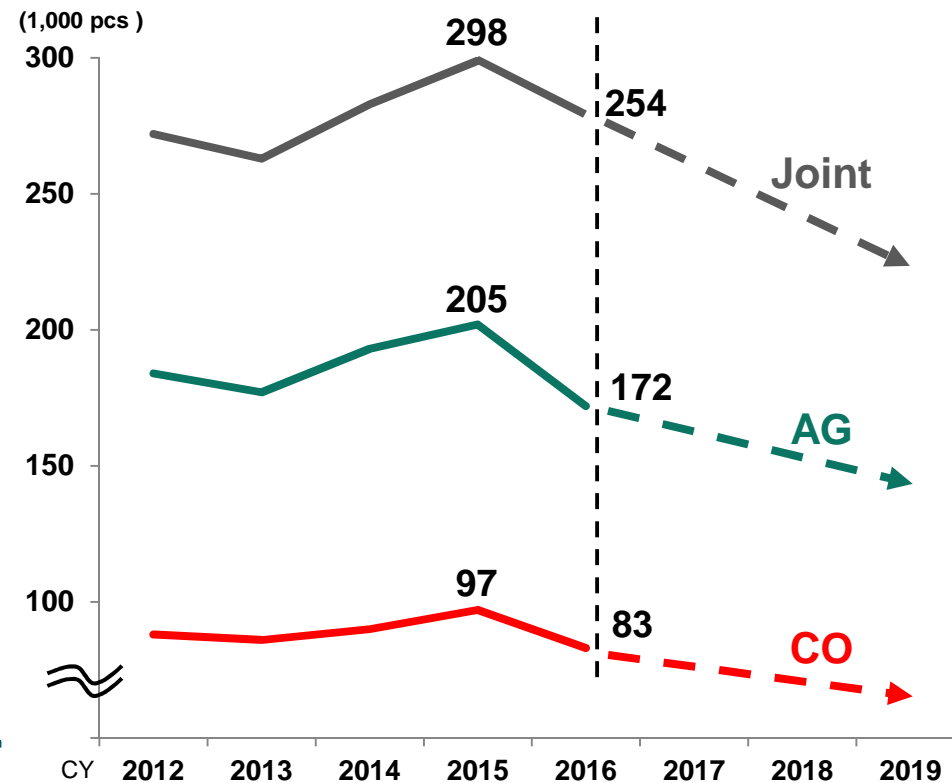


機種統合/部品点数削減状況

機種数推移



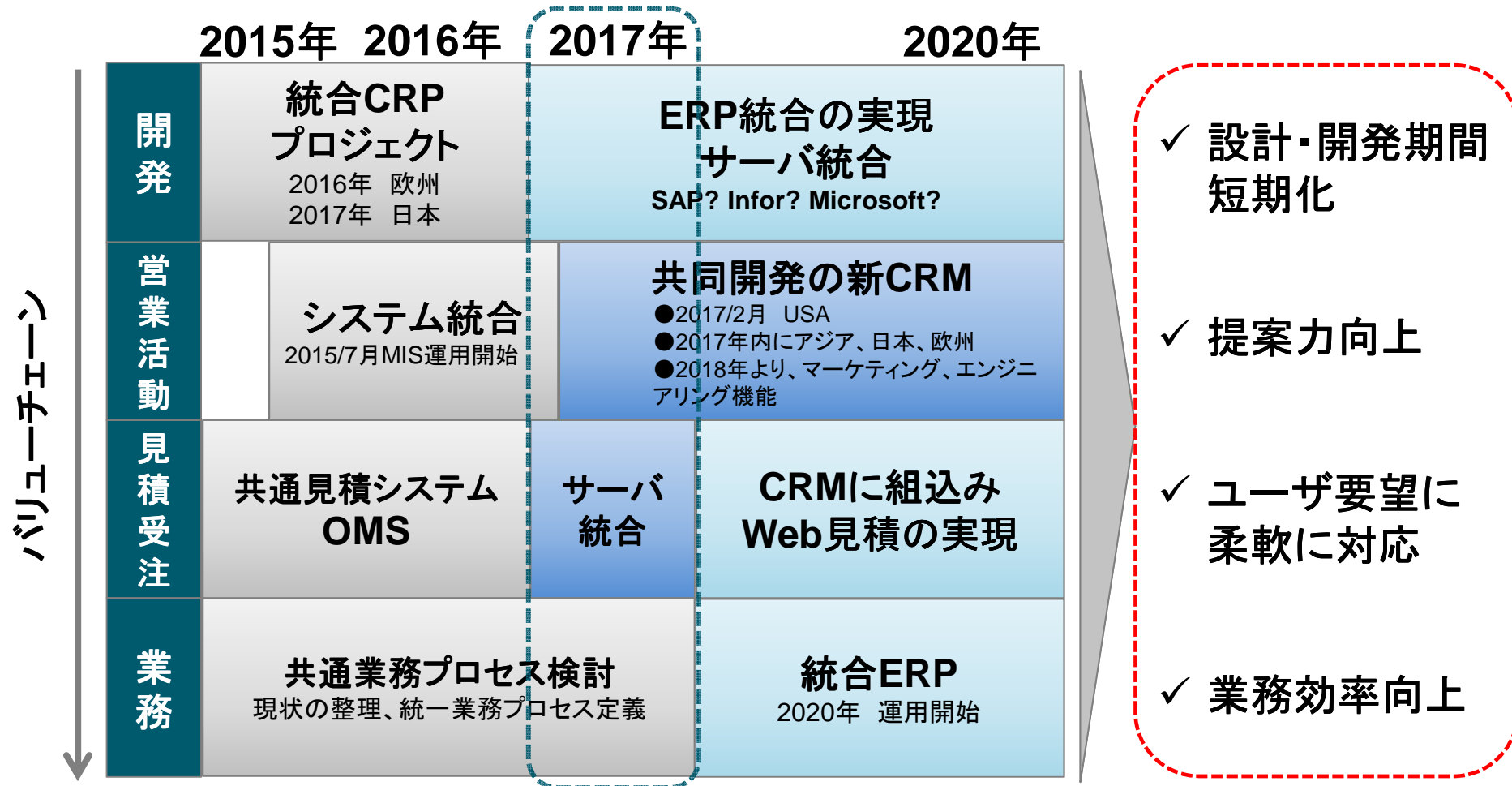
部品点数推移



- ✓ 在庫点数削減効果、生産効率向上により20~30億円/年のコスト削減
- ✓ パートナー・サプライヤとの周辺機器開発及び接続ソフトウェア展開

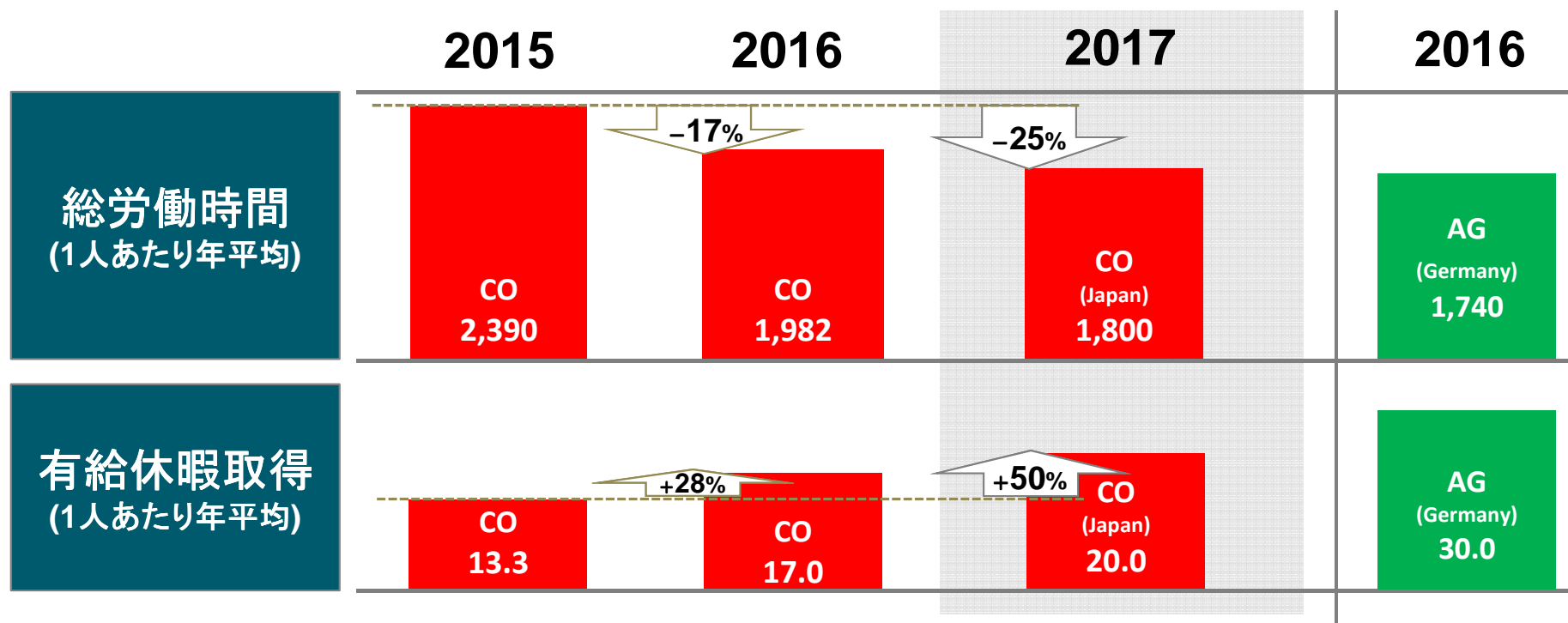
社内ITインフラの統合・強化

□ AG、CO統一システムで業務効率・顧客対応力向上



DMG MORI 働き方改革

2017年欧州並みの水準を達成



効率的な働き方を実現する社内制度

➤ 在宅勤務

育児や介護を行う社員

2016年10月～



➤ 社内託児所

4拠点 (東京・名古屋・伊賀・奈良)

2016年12月～



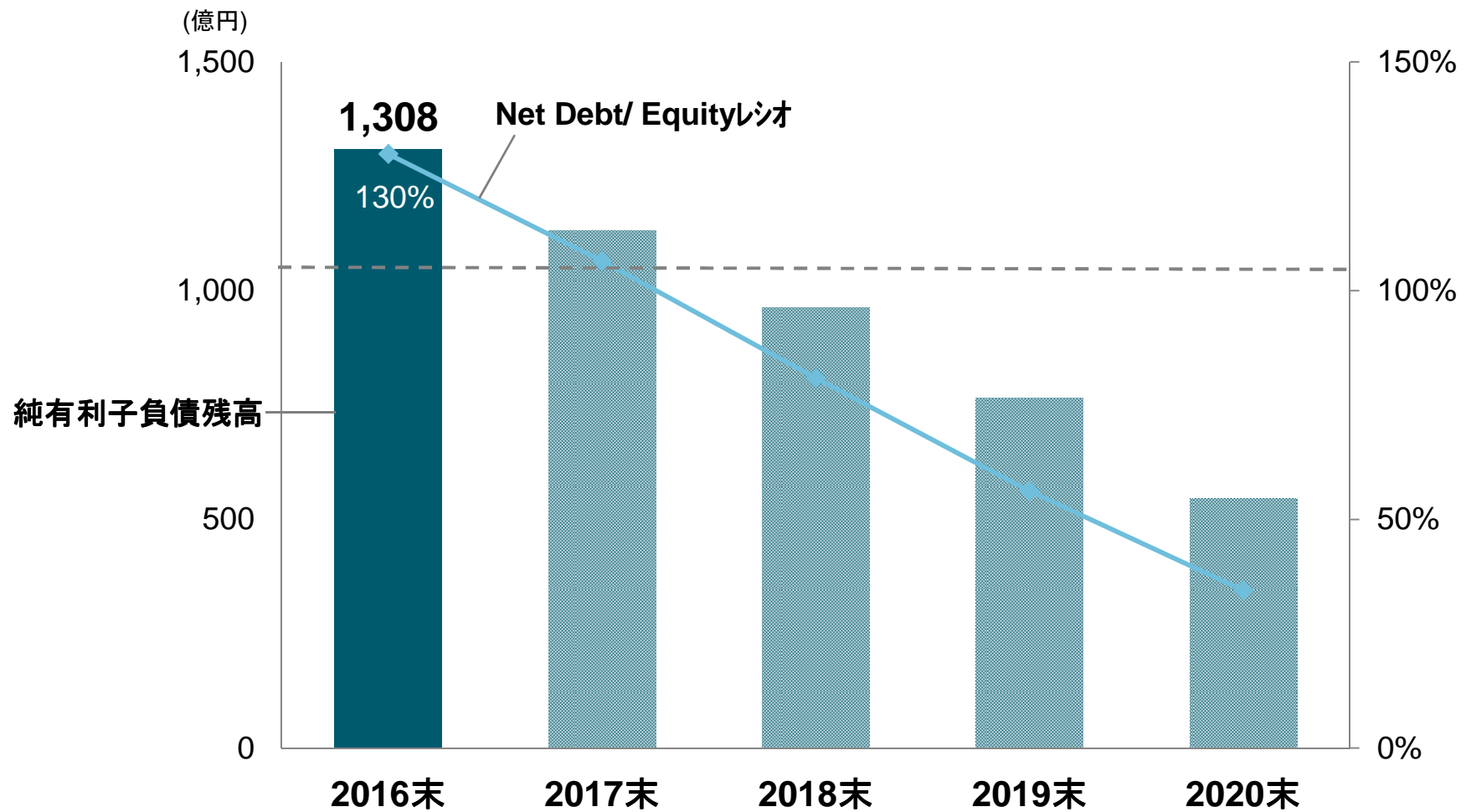
➤ コアタイム制

➤ 3シフト制

2017年1月～

有利子負債削減計画

□ 150～200億円/年のFree Cash Flowを創出し、着実に純有利子負債を削減



免責事項

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更